

**令和 8 年度 第 1 回学校関係者評価委員会
兼 信頼される学校づくりのための委員会**

◎日 時	令和 8 年 6 月 10 日（水）
◎会 場	C24 教室
◎参加者	評価委員・校長・教頭・事務長・4 部主任・学年主任・学校評価係
◎会 順	14：00～開会のことば・校長より 14：05～評価委員会設置要項説明・学校概況説明、令和 8 年度年間計画の口頭説明 14：10～各主任より重点目標に対する口頭説明 （教務部）（生徒指導部）（進路指導部）（保健部）（各学年主任） 14：25～質疑・応答，意見交換 14：50～閉会のことば

◎委員からの感想等（まとめ）

- （質問）生徒指導提要の改定に伴い、校則も見直しが必要であるとのことだったが、変更すべき点は多くあるのか。
- （回答）複数あると思う。例えば、高校で特別指導をする場合は、対象生徒を別室で指導している。しかし、特別指導を受ける生徒にも授業を受ける権利はある。そのため、指導中の生徒も教室で授業を受けるなど、改善していく必要があり、転換期であると思う。
- （意見）3 学年の重点目標に、1、2 年生で人間関係で悩む場面があったと書いてある。先生方は温かい指導をされていると思うが、今後も継続してもらい、高校生一人ひとりが充実した学校生活を送ってほしい。
- （意見）4 月の学校だよりに、企業と連携して商品開発をした記事が掲載されている。とてもよかった。他の生徒たちも、探究活動を積極的に行い、充実した学びにしてほしい。
- （質問）中学校では、校則の見直しを 10 年ほど前から行い、現在ではほとんどの学校で改訂版の校則が完了している。改定の際は、教員と生徒会役員と一緒に決めた。高校入学後に、生徒が校則に対して、意見するなど、揉めることはないか。
- （回答）今のところ、校則で生徒と揉めることはない。生徒たちにも、今後緩和していくことは伝えている。また緩和しても、常に面接試験を受けることができる服装でいるように伝えている。
- （意見）2 学年の重点目標に、「授業に取り組む態度を見つめ直し、学習へのモチベーションを高めるように努める」とある。学習の姿勢を養うことは、小中学校での指導が大事であると思う。今後、中高連携を密に行うことで、授業をしっかりと受けなければならないということを、中高で連携して共有し、学習の姿勢をしっかりと培ってから、高校に進学するようにしていく必要がある。